

おお大勝利

平成 28 年度山東サッカー部報第 20 号 (2 月 28 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

新年明けましておめでとうございます

皆さま、遅ればせながら、新年明けましておめでとうございます。今年も山東サッカー部並びにこの部報よろしくお願い致します。

昨年は、県リーグこそ Y2B で優勝し 1 部昇格を決め、目標の一つを達成したものの、トーナメント戦（県総体・選手権・県新人）では県総体の準々決勝進出が最高成績で、県 1 位の目標達成からは程遠い 1 年でした。代替わりした県新人では、東北新人への切符が二つあるという巡りあわせ¹から、顧問の腹積もり的には「それを積極的に獲りに行った」のですが、あえなく初戦敗退。近年の「勝負弱い山東」を象徴する大会となりました。以前は技術がなくとも、勝負強さだけで勝ち上がったのですが。

ただ、**冬の期間のトレーニングがシーズンイン後に活きた年でもありました**。例年、冬のトレーニングで手応えを感じるものの、春にその手応えが単なる幻想だったことに気付くというサイクルを繰り返してきましたが、昨年度冬は強化ポイントを徹底してトレーニングし、少なくとも春以降「手応えのギャップ」を感じることはありませんでした。今年も昨年引き続き、ネチネチと練習してますよ～。昨年同様の応援を引き続きよろしくお願い致します！！

とまあ、このように書きましたが、これを書いている私が来年山東に残留する保証はどこにもない。もちろん山東サッカー部は「永遠に不滅」ですし、私も OB の一人として山東サッカー部を応援し続けることに変わりありません。が、顧問はいずれ異動する定めにある。3 年前に部報新年号でこう書きました。

前任校は進学校とは対極にあるような学校であり、サッカー部も半分が初心者でしたが、それぞれにやり甲斐があり、異動は絶対にしたくない中、異動が命じられ、渋々山東へ赴任いた、という思い出があります。そんな重い気持ちで赴任した山東も、「住めば都」。まだまだ居座る野心はあるのですが・・・9 年目に突入できますでしょうか？
できなかつたら、この部報は 3 月で終了ということになりますよ～。まあ、**勝手な予測で言いますと「75%残留」**でございます。

それを受け、2 年前の新年号でこう書きました。

昨年の残留確率 75%というのも全くあてずっぽうですが、その数字を前提に、あと 10 年残留する可能性はない（残留確率が 0%になる）と考えてみたときに、今後 1 年

¹ 3 年に 1 度くらい 2 位まで東北新人に行ける年があります。震災前は福島の J ビレッジで毎年開催され、3 年に 1 度だけ 2 枠で後の 2 度は 3 枠与えられておりました（全 16 チーム参加）。山東も、何度か東北新人に行かせてもらいました（平成 18 年度ナオヤの代、21 年度コウスケの代、22 年度タダの代）。現在は、東北電力というスポンサーの撤退や、会場・宿泊施設の関係から、規模を縮小させ、全 8 チームで開催されています（宮城と福島で交互に開催）。ちなみに、上記タダの代で 23 年 2 月に開かれた東北新人の 1 ヶ月後に震災が起き、J ビレッジから見えていた福島第一原発が事故を起こしたのです。

で7%ずつ残留確率が減っていく、とまあ大雑把に言えるのではないのでしょうか。ということは、**来年度の残留確率は68%**となります。確率的には50%を超えているので残留する可能性の方が高いと言えますが、パチンコ等の愛好者の方ならその数字がいかに信頼おけないものか、よくおわかりかと思えます・・・。

この「計算式」を前提にすると、**今年度の残留確率は61%**でしたので、**次年度平成29年度の残留確率は54%**となります。まだ残留する確率の方が高いものの、今年度3学年担任をした関係から、残留も非常に危うい巡り合わせと危惧していますが、どうなりますことやら。ぜひ新シーズンも山東で顧問をしていきたい希望はありますので、その希望を前提にこの冬をチームとともに乗り切りたいと思います。

充実の正月埼玉遠征・校内合宿を終えて

1月3日～5日、**このたびで5年目となる埼玉遠征**を行ってきました。埼玉県立越谷西高校サッカー一部さんにおんぶにだっこの、本当にありがたい遠征でした。また、**現在1・2年選手が23名**と少なくOB3名ほど（選手役での）ヘルプをお願いしましたら、6名の立候補がありましたので、折角ですからその6名全員の力を借りて遠征してきました。6名のOBとは、**山形大学4年大築君（山東62回卒）、東北大学3年堀込君（63回卒）、東北大学1年阿部くん（65回卒）、埼玉大学1年の三郎くん・新潟大学1年の太一くん・山形大学1年の吉田くん（いずれも66回卒）**。大築くんは4年連続、堀込くんは3年連続の埼玉遠征。その他の4名も、正月だというのに、後輩のために喜んで？駆けつけてくれました。特に66回卒の3名は、埼玉大学在籍の三郎くんのアパートに泊まって宿泊費を浮かしてもらい、その点でもご面倒をおかけしました。

まず、3日6時に出発し、浦和駒場スタジアムに直行。選手権の3回戦を観戦し全国レベルのプレーを肌で感じた後、越谷西高校へ行きすぐ越西さんと練習試合。練習試合ではそこそこ粘りましたが、最後は力の差を見せつけられるといった内容。山東は秋冬のオフ、年末年始のオフ明けで、コンディションが良い訳はなかったですが、例年と比べると内容は悪くなかったかもしれない。ただ、**ディフェンスにおけるポジショニングに甘さ**がみられ、小学校の高学年では習うくらいの初歩の初歩から指導致しました。

二日目も越西Gで越西さんと春日部高校さんと練習試合をして頂き、経験を積ませてもらい、三日目は2年連続で岩槻高校さんにお世話になる。例年のことながら、OBのプレーに助けられ、何とか良いゲームになっているといったところ。特に大築くんの熱いコーチングには、いつもながら驚かされる。「あんなにしゃべったら、他の人がしゃべれなくなるだろう」「あんなにしゃべったら、他の選手が大築くん頼みになってコーチングしなくなるだろう」などと慣れた私は感じなくもないですが、1年生などはカルチャーショックを受けたのではないか。ともかく、OBの活躍により、無事埼玉遠征も終了。

OBの皆さん、春日部高校さん、岩槻高校さん、そして何より越谷西高校さん。ありがとうございました。

そして**この冬は、怒涛の校内合宿3連発。**

①1/20（金）～1/22（日）、②2/3（金）～2/5（日）、③2/17（金）～2/19（日）

例年、秋冬は、宮城・福島のチームにお世話になり遠征に行かせてもらい、ゲーム機会の確保に努めて参りました。ですが、限られた日程でのマッチメイクに難航することも多いし、

あまり練習を積めていないのに外に行ってもゲームしにだけ行ってもトレーニング効果を感じず低調なゲーム内容にイラつきだけ持ち帰ることが多かった。昨年は、あまり外に行かない代わりに1回金土日で校内合宿を行い、**体育館での朝連・夜連**を致しました。合わせ体カトレーニングや、夜となく昼となく繰り返される**マネージャーによる「おにぎり攻撃」**も浴びせました（食事トレーニング）。そこで結論を得ました。**この時期高いバス代をかけて外に行ってもイラつきを溜めるより、校内合宿でしっかり力を溜めた方がよほど効果が高い、と。**

ということで、**昨年1回の校内合宿をこの冬は3回も行っちゃった**。13年ほど前に山形東高校120周年を記念して同窓会が建てて下さった綺麗な合宿所を利用し、体育館の部活の使用しない朝晩に、ガッチリ練習漬け。そのトレーニングの休憩時にはマネ特製のおにぎりをほおぼる。

ほんでもって今年は、第2回と第3回の合宿にて、**本校OGで在学中はIHにも行き、大学では日本2位にもなった現在市役所職員の柔道家武井先生（第58回卒）**にお越し頂き、**柔道式フィジカルトレーニング**を実施。サッカーの動きと異なるだけでなく、一般的な体幹トレーニングともまた違った動きも求められる柔道式のトレーニングを通じて、バランス・筋力・柔軟性を同時に鍛えて頂きました。**1年カサコウ**を筆頭に、先生のデモンストレーションを食い入るように観察し、胸ときめかせながら意欲的にトレーニングをしておりました。**武井先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。**

さて、この冬のトレーニングの成果はどんなものか。来シーズンの活躍に期待下さい！